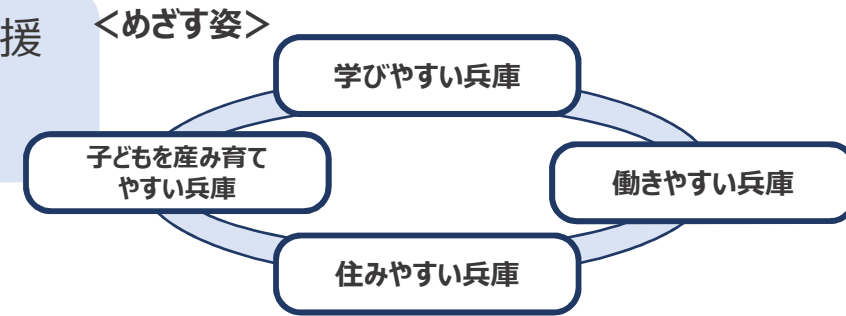


- ◆少子化・人口減対策として、これから結婚・子育てをする若者・Z世代を支援
- ◆有識者会議の意見のほか、アンケート調査などを踏まえて施策化



| めざす姿 | 検討する主な取組 | ※ 公表済のものを含む |
|---------------|--|-------------|
| 学びやすい兵庫 | <ul style="list-style-type: none"> ○高等教育の負担軽減 <ul style="list-style-type: none"> ・県立大学の授業料等無償化（8/4公表済） ・兵庫型奨学金返済支援制度の拡充（年齢要件の緩和等） ○県立高校支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・英語力の向上、高等学校探究活動の充実、海外留学のサポート ○不登校対策 <ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒支援員の配置拡充 | |
| 子どもを産み育てやすい兵庫 | <ul style="list-style-type: none"> ○不妊治療支援の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・実態を踏まえた支援のあり方、企業・団体との連携強化、プレコンプレッションケアの推進 | |
| 住みやすい兵庫 | <ul style="list-style-type: none"> ○子育て世帯が暮らしやすい住まいや住環境の確保（「子育て世帯への住宅施策検討会」を設置） <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯の経済的負担を軽減（県営住宅の入居要件緩和等） ・中古住宅の市場流通を促進（空き家の改修等を支援） | |
| 働きやすい兵庫 | <ul style="list-style-type: none"> ○兵庫型奨学金返済支援制度の拡充（年齢要件の緩和等）【再掲】 ○若者向け起業支援・企業誘致の強化 ○新しい働き方や女性活躍の推進 ○理工系人材の獲得支援 | |

若者・Z世代応援パッケージ（学びやすい兵庫） （高等教育の負担軽減）

1 現況・課題

- ①大学・短大で学ぶ学生のうち、約3人に1人が奨学金を利用。
- ②返済の負担感は増えており、結婚、出産など生活設計への影響は年々深刻になっている。

■ 日本学生支援機構奨学金の貸与状況

1. 大学・短大で学ぶ学生のうち、約3人に1人が奨学金を利用
（17年で、約1.4倍）

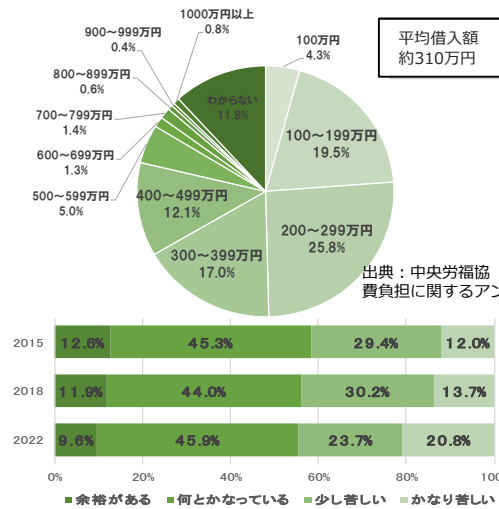
| 学種 | H16年度 A | R3年度 B | 増減B/A |
|-------|--------------------|--------------------|--------|
| 大学・短大 | 4.3人に1人 (23.3%) | 3.2人に1人 (31.6%) | 135.6% |

2. 総貸付残高は17年間で約2.5倍

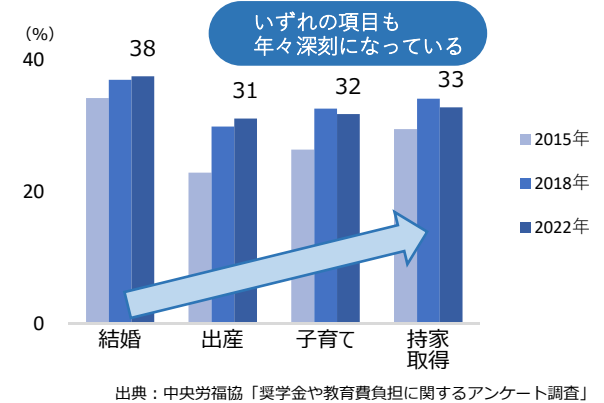
| 区分 | H16年度 A | R3年度 B | 増減B/A |
|-------|---------|--------|--------|
| 総貸付残高 | 3.8兆円 | 9.5兆円 | 251.0% |

（日本学生支援機構資料より）

■ 日本学生支援機構奨学金の一人当たりの借入額返済の負担感



■ 奨学金返済による生活設計の影響



2 対応の方向性

- （1）県立大学の授業料等無償化（8/4公表済）
- （2）兵庫型奨学金返済支援制度の拡充（年齢要件の緩和等）

【参考】奨学金支援制度の概要（現行）

| | |
|---------|--|
| 補助対象 | 県内に本社のある中小企業等 |
| 支援対象 | 以下の全てを満たすもの ① 日本学生支援機構の奨学金受給者 ② 正社員で30歳未満の者 ③ 当該企業就職後5年以内で県内事業所勤務 |
| 支援期間 | 最大5年間 |
| 補助上限 | 年間返済額の2/3（上限12万円） |
| （スキーム図） | |

県 2/3

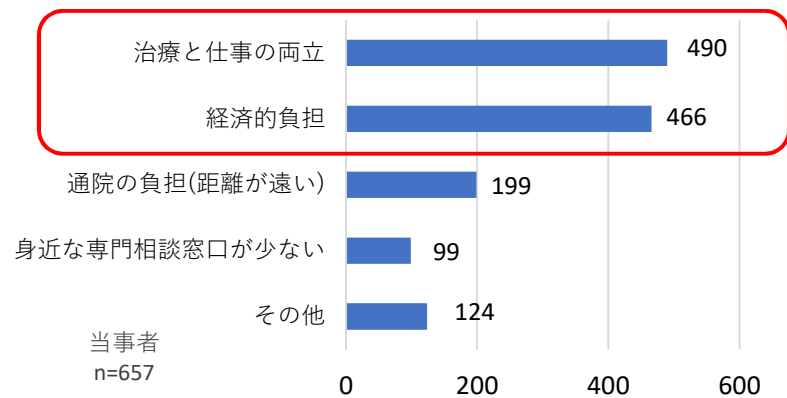
企業 1/3

若者・Z世代応援パッケージ（子どもを産み育てやすい兵庫） （不妊治療支援の強化）

1 現況・課題

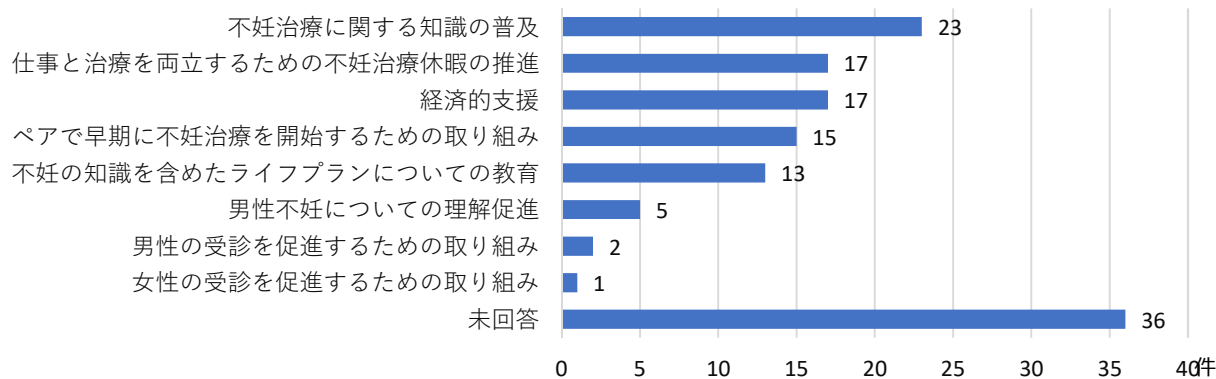
当事者アンケートの結果、治療と仕事の両立が困難であることや、先進医療を中心とする経済的負担の軽減を求める多数の回答を得た。また、不妊症に係る知識の普及を望む声があった。

■ 不妊治療における困りごと・課題（3つまで選択）



(R5 県健康増進課調査)

■ 不妊治療の理解促進に優先的に必要なこと（2つ選択）



(R5 県健康増進課調査)

2 対応の方向性

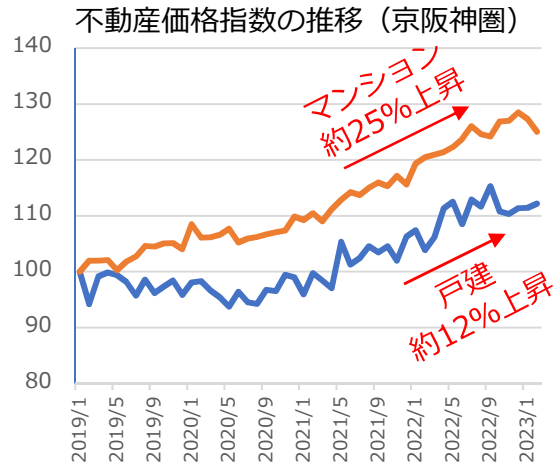
- (1) 保険適用後の患者の実態を踏まえた支援のあり方を検討
- (2) 事業者における休暇制度等の導入推進のための方策の検討
- (3) 若い世代の妊娠・出産を含む健康づくりを支援するため、プレコンセプションケアを推進

若者・Z世代応援パッケージ（住みやすい兵庫） （子育て世帯が暮らしやすい住まいや住環境の確保）

1 現況・課題

■ 子育て世帯の住宅ニーズの把握

・近年、阪神間など都市部を中心に住宅価格が高騰

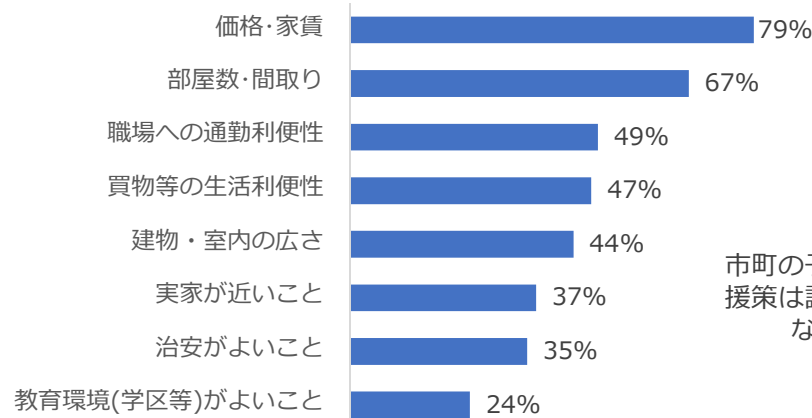


出典：不動産価格指数（国土交通省）

※ R5.8に住宅や福祉等の専門家で構成する「子育て世帯への住宅施策検討会」を設置し、**まずは転入ニーズの高い阪神間をモデルに検討**

・子育て世帯のニーズは、価格に加え、広さや利便性など住まいや住環境の充実

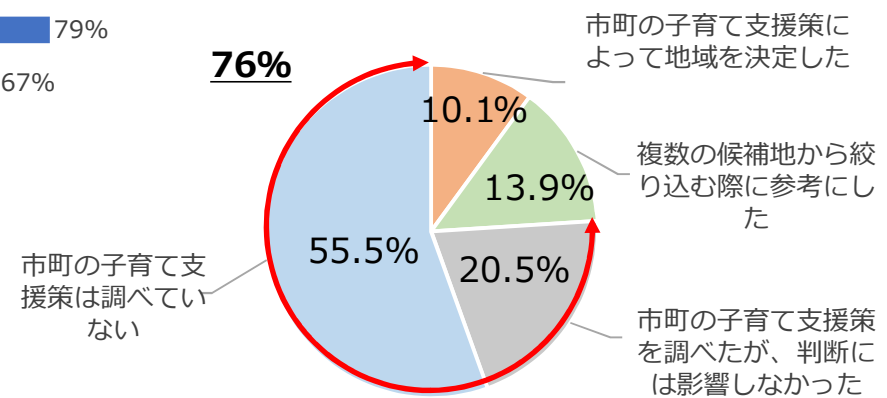
〔新婚・子育て世帯が住まいを探す際の重視条件(上位抜粋)〕



資料：兵庫県での住宅取得・転居に関するWEBアンケート調査（2023年）

・住替地域選定に市町村のソフト施策が影響を与えなかったのは約76%

〔住替地域を選択する際にソフト施策をどの程度考慮したか〕



2 対応の方向性

■ 地域課題や住宅ニーズを踏まえた施策の検討 ※阪神間でエリアを絞り込んでモデル的に実施

① 子育て世帯の経済的負担を軽減

- ・ 県営住宅の優先入居や子育て世帯向けリノベーション等
- ・ 民間住宅への入居等を支援

② 住宅の新規供給量の増加

- ・ 公有地活用による民間住宅等の立地誘導

③ 中古住宅の市場流通を促進

- ・ 空き家の改修等を支援

④ 住環境の改善

- ・ ニュータウン等における子育て施設等の施設整備を支援